平成 29 年度　第 2 回全国健康保険協会愛知支部評議会議事録

日　時：平成 29 年 7 月 11 日（火）15：00～17：00
場　所：全国健康保険協会愛知支部　第一会議室
出席者：天木評議員、金原評議員、後藤澄江評議員（議長）、後藤治彦評議員、後藤雅文評議員、
　　髙橋評議員、竹内評議員、永池評議員（五十音順）

事務局側出席者：広瀬支部長、深沢企画総務部長、加藤業務第一部長、小野寺業務第二部長
　　田中企画総務グループ長、井上グループ長補佐、中村主任、鈴木主任、土田主任

１．前回議事録の確認
・前回議事録について問題ないということで承認された。

２．平成 28 年度決算報告　資料①
資料に沿って説明し、問題ないということで了承された。

３．平成 28 年度愛知支部の運営状況　資料②
【被保険者代表】
・任意継続被保険者数が昨年より減少している理由は？
(回答)
・定年延長、雇用延長等の影響が考えられるが、団塊の世代が資格喪失して抜けていった影響も大きい。また、事業所の倒産や雇い止めなどで国保の保険料が軽減される場合には国保を選択される方も増え、その影響もあるようである。

【被保険者代表】
・「出産費用貸付件数 2 件」の詳細を教えてほしい。
(回答)
・直接支払制度に対応していない医療機関での出産と海外での出産による。

【学識経験者】
・協会設立から現在まで 9 年間で愛知県内の加入者数が 20 万人増加したが、組合健保の推移はどうなっているのか。
(回答)
・組合健保数は減少傾向である。加入者数としては漸減と思われる。
【学識経験者】
・保険証の切り替えが毎年 4 分の 1 程度あるが、それは協会けんぽ内で勤め先が変わっているのか、1 年更新のような有期の勤め方をしているのか、どちらなのか。
(回答)
・両方が考えられる。ただし、その割合は把握していない。

【被保険者代表】

・例えば、10 年前に胃のポリープを取ったら、それ以降、毎年健診の度に要再検査となる。その都度に検査費用をかけて再検査をするが、結果は何ともない。これが何年も続くと、要再検査の通知が来ても再検査が嫌になるという声がある。そうなると、だんだん再検査を受ける人が減ってくるのではないかと思うので、このあたりの要再検査のレベルを上げてほしい。

（回答）

・ご意見として伺います。

4．協会けんぽ愛知支部の健康宣言事業　資料③

【学識経験者】

・健康宣言事業は、最初は「このような事業に大きな期待はできない」と思っていたが、大手会社が新聞広告に健康経営優良法人のロゴを使って健全さをアピールするなど意外と浸透してきたと感じている。

（回答）

・先月表彰した事業所でも昨今の新規採用が難しい状況の中、直近 3 年間で 13 人の採用ができたことが健康宣言のリクルート効果の実例となっており、他の事業所に良い影響を与えると考えている。また、中部経済新聞の 1 面で扱われるような話題になったことからも健康経営・健康宣言が市民権を得たものと思っている。

【学識経験者】

・健康宣言事業においては事業主、社員、保険者にとって不都合なことがなく、三方良しの事業だと思う。ただ、継続的に続けるため、今後の取り組みが重要だと思う。

【学識経験者】

・長時間労働による過労死問題によって追い風が吹いているが、認定された企業の結果をフォローしていかないと形骸化する恐れがあると思う。

（回答）

・ヘルスアップ通信簿等で健康宣言事業所の健康度を経年で追うことで健康宣言事業の効果検証を行いたいと考えている。

5．その他

・竹内一房評議員が 7 月 31 日付で評議員退任

・次回評議会は平成 29 年 9 月 27 日（水）16 時から開催予定